



青き楓

島高だより
平成 30 年 2 月号
(通巻第 143 号)

長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から

「落ちない楓」と^{けいそう}勁草

校長 渡邊 孝経

本校玄関前のミニ庭園に 3 本の「カエデ」が植えてある。玄関から見て左手前の木は他の 2 本が葉を落としても、紅葉が残っており、冬枯れの季節でも明らかに枯れて褐色に変わってはいるが、その葉は落ちず木の枝にしっかり残っている。そして、春がそこまで来ている今でさえまだ枝にとどまっているのである。このことを長崎大学の北浦 剛資教授が島原高校校長時代に「落ちない楓」と命名された。「『青き楓たち』と呼ばれ、ほとんどが大学入試に挑む島高生たちにとって、縁起を担ぐ意味でも貴重なものだ」とおっしゃっていたことを思い出す。そして、「目先の大学入試だけでなく、遠い将来にわたってたくましく生きることへの暗示かもしれない。」ともおっしゃっていた。



私がこの「落ちない楓」をみて思いつく言葉がある。それは「疾風に勁草を知る」（「後漢書」）という言葉である。

「勁草」とは、強い草であり、「疾風」は激しく吹く風である。おだやかな日には、強い草も弱い草も区別がつかない。だが、疾風が吹き荒れると、弱い草は地べたに這いつくばってしまうが、強い草は頭を上げてまっすぐに立ちとうとする。疾風の吹き荒れる日にこそ、勁草の真価が発揮される。という意味であり、「落ちない楓」に通じるものがあるように感じる。

人にたとえると、逆境に直面したときに、その人の意志の強さや信念の堅固さ、人間としての値打ちがわかるということである。このように、「落ちない楓」や「勁草」の強さが人間が生きていく上で必要であり、生徒諸君にもその強さを身につけて欲しいと思う。ただし、見方を変えれば、この「落ちない楓」はあきらめの悪い、したたか、往生際の悪い葉だとも言える。

3 年生は、入試真っ只中であるが、この「落ちない楓」のように最後の最後まで、あきらめず、したたかに、往生際悪く入試に取り組んで欲しい。最後の最後までジタバタして良いと思う。

3 月の主な行事予定

1 日(木) 第 70 回卒業証書授与式
2 日(金) 早朝補習再開
3 日(土) スタディーサポート(1 年)
土曜講座(2 年)
7 日(水) 1・2 年 自宅学習(～9 日)
10 日(土) 土曜講座(1・2 年)
12 日(月) 国公立大学後期試験
体力テスト・身体測定(2 年)
13 日(火) 体力テスト・身体測定(1 年)
14 日(水) 全国選抜大会壮行会



15 日(木) 高校入試合格者発表(9:30)
16 日(金) 教科書販売(1・2 年)
18 日(日) 合唱部定期演奏会(文化会館)
21 日(水) 春分の日
22 日(木) 合格者テスト・保護者同伴説明会
早朝補習終了(1・2 年)
23 日(金) 大掃除・終業式・離任式
26 日(月) 登校自学(1・2 年) (～27 日)
27 日(火) 全国選抜大会(剣道・レスリング)
(～29 日)

平成 29 年度「学校評価」について

教頭 中田 克之

- ① 生徒・保護者アンケート評価項目合計 36 項目のうち、前年度より 28 項目で数値が向上しました。また、4 段階評価で「よくあてはまる」(4) + 「あてはまる」(3) の計が 80% 以上のものが 34 項目であることから概ね高い評価を受けたと思います。
- ② 「2」「3」「8」「9」の項目については、他項目と比較してやや低い結果でした。今後、保健相談部が実施する「悩み調査」、生徒指導部が実施する「学校生活調査」など各種アンケート結果も踏まえ、すぐに担任・学年・分掌によるフォロー体制を充実させ、これまで以上にきめ細やかな対応に努めます。
- ③ 「17」の「主権者教育」については、最も低い評価でした。次年度は、高校 3 年間を見通して、組織的・体系的に取り組んでいきます。
- ④ すべての教育活動を通して、「文武両道」の校是のもと「島高生としての誇り」を育成してまいります。なお、より詳しいデータは本校 HP に今後掲載いたします。

※ () 内の数値は昨年度のデータ

	質 問 項 目	よくあてはまる(4)+あてはまる(3)	
		生 徒	保護者
1	教育方針・育てたい生徒像	94% (91%)	94% (93%)
2	学習と部活動の両立	86% (78%)	89% (88%)
3	わかりやすい授業	86% (83%)	84% (83%)
4	校則・社会のルール	95% (93%)	94% (94%)
5	進路情報提供	93% (89%)	88% (85%)
6	進路実現支援	94% (89%)	89% (85%)
7	清掃活動	92% (89%)	92% (89%)
8	健康管理	86% (79%)	90% (86%)
9	教育相談	81% (78%)	85% (81%)
10	学校行事の充実	86% (85%)	91% (90%)
11	施設・設備	84% (81%)	88% (88%)
12	防災・危険防止	91% (91%)	93% (89%)
13	情報提供	96% (96%)	94% (94%)
14	P T A・同窓会との連携	95% (93%)	94% (95%)
15	人権教育	95% (94%)	92% (89%)
16	環境教育	83% (80%)	92% (92%)
17	主権者教育	71% (66%)	76% (75%)
18	島高生としての誇り	86% (81%)	87% (88%)

アンケートへのご協力ありがとうございました。



第20回島原半島美術展

美術部顧問
小野 大輔

平成 30 年 2 月 7 日（水）～ 12 日（月）にふれあいホール サンプラザ万町を会場に島原半島美術展が開催され、半島内の 8 校から 55 点の作品が出品されました。

今回は、島原半島の高校生たちの個性溢れる作品の中に、九州総文祭（沖縄大会）に出品された島原高校と島原特別支援学校の 2 作品も並び、見ごたえのある展示内容になりました。この様子は、テレビや新聞などにも取り上げられ、メディアを通じて紹介することもできました。また、絵画やデザイン、彫刻作品に加え、各校 1 枚ずつ制作した B1 サイズの各学校の校章デザインも見所のひとつになったのではないかと思います。

この展示会の初日には、搬入展示や作品鑑賞会、その他準備などのあらゆる場面で生徒同士の交流があり、自分たちで考えて行動していました。会場内においては、作品の色合いやジャンル等を総合して話し合いながら作品の配置を考えたり、会場の外ではチラシ配りをして直接地域の方に PR するなど、役割分担をしながら展示会をより良いものにしたいという積極的な姿も見受けられました。また、6 日間の展示期間で受付を担当した生徒は、観覧者の声を直接聞く経験もすることができました。



卒業研究発表会

3 年主任 小森 貴

進路が決定した 3 年生 20 名が、それぞれの進路に関係するテーマについて研究した内容を発表する「卒業研究発表会」を 2 月 23 日（金）に実施しました。様々なテーマがありましたが、自分の将来についてしっかりと向き合うことができた研究でした。

【卒業研究のテーマ】

- ・アスリートに必要な食事 ・長崎の観光産業を活性化する ・救急医療・救急救命士について
- ・競技力をつけるには ・警察官とは ・環境問題 ・陸上選手の食事について
- ・怪我やスポーツ後の体のケア ・減量について ・島原高校剣道部稽古内容の振り返り
- ・ドーピング ・警視庁について ・消防士について ・法の成り立ち ・消防士の活動
- ・食と健康管理について ・大学と将来の夢について ・危機管理学について
- ・放射線が人体に及ぼす影響と医療への活用について ・穀物

【卒業研究についての感想】

- ・私は今回ドーピングについて調べました。今までドーピングとは無縁だと思っていたのですが、一般の風邪薬でもドーピング違反になることがあると知り、今後の競技生活において気をつけたいと思いました。



主な部活動実績等

レスリング部

第 53 回全九州高等学校レスリング新人選手権大会

個人対抗女子 46kg 級	優勝	伊藤 希
個人対抗女子 56kg 級	優勝	吉武まひろ
個人対抗女子 52kg 級	第 2 位	森瀬 詩乃
個人対抗男子 74kg 級	第 3 位	松尾 浩成

第 63 回青少年読書感想文長崎県コンクール

高等学校自由読書の部 優秀賞 岡本 朱里

（2 月 19 日実施分まで掲載）



国公立大学前期試験・学力検討会

進路指導部主任
酒井 太一

2 月 25 日（日）・26 日（月）に国公立大学前期試験が実施されました。

これまでの努力が実り、見事に合格を勝ちとることを島高にかかわる全ての人々が願っています。また、1・2 年生もいずれ受験生となります。先輩の姿から多くのことを学び取って下さい。

【3 年生】前期試験には国立大学、公立大学あわせて約 130 名の生徒が臨みました。直前まで職員室では至る所で熱心に質問する 3 年生の姿が見られ、自学スペースや図書室で勉強する姿からも、不安とともに熱い志が感じられました。合格発表は 3 月上旬に行われ、2 月 27 日からは中後期試験に向けての講座を実施します。

【1・2 年生】各学年とも学力検討会において、1 年間の成績推移と次年度に向けての方針を検討します。いよいよ 2 年生は 4 月から受験学年となります。「受験生への変身」に向けた取組を、1 年生は中堅学年として「受験に向けて今できること」を考える取組を行います。新学年でのよいスタートができるように、3 月は学習計画をしっかりと立案しましょう。

「地域学」クラス発表会

1 学年担当 村上 嘉則

1 年生では 10 月中旬頃から「地域学」に取り組んでいます。地域の魅力を再発見し、自分が住んでいる地域に誇りをもつこと、地域が抱える課題を理解し、その解決に向けて高校生の柔軟な発想で解決の糸口を見つけられないか、また、そのような活動を通じて、大学卒業後に地元に戻り、地域を担ってくれる人財を育てることを目的としています。

今回は地域の魅力を探り、それを伝える CM 制作に取り組みました。各クラスで班ごとに取材に出かけ、何を伝えるのか、どういう人を対象に伝えるのかなど、工夫を凝らして CM を作りました。完成した CM は長崎文化放送 (NCC) の CM コンクールに出品しています。現在は 3 月 15 日（木）の学年発表会に向けて、準備を進めているところです。



各種表彰

卒業式を翌日に控えた 2 月 28 日（水）に各種表彰が行われました。

青楓表彰（本校独自の表彰） 3 年 5 組 松本 直太

長崎県教育委員会優良卒業児童生徒表彰 3 年 6 組 松坂 怜

長崎県スポーツ表彰 剣道部男子

3 年 4 組 大津 拓馬（レスリング部） 1 年 6 組 池田 成諒（陸上競技部）

長崎県高等学校体育連盟表彰

◇卒業生顕彰 3 年 2 組 酒井 陽菜（バレーボール部）

◇一般表彰 団体 剣道部男子 レスリング部

個人 2 年 1 組 黒川 雄大（剣道部）

3 年 4 組 大津 拓馬（レスリング部）

1 年 4 組 吉武まひろ（レスリング部）

長崎県高等学校文化連盟表彰

◇卒業生顕彰 3 年 2 組 大渡 碧（放送部）

◇生徒表彰 3 年 5 組 松本 直太（囲碁同好会）

3 年間無欠席生徒表彰 110 名

